

第16回 北広島市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議概要

日 時	令和3年3月12日（金） 15:30～16:30
場 所	市役所3階3D会議室
出席委員	山本一彦委員・浦野博之委員・小野麗子委員・小池隆史委員 ・宍戸圭子委員・藤山康雄委員・奈良隆委員・二瓶文彰委員 ・深村真人委員・宮崎克宣委員・吉岡広樹委員
欠席委員	壽福史人委員・丹野司委員・守山英男委員
事務局	川村企画財政部長、橋本企画課長・大川主査・村上主任
傍聴者	0名
会議次第	1 開 会 2 議 事 (1) 第2期総合戦略（案）について（資料1、参考資料1、参考資料2） (2) 次回推進会議の日程について 3 その他 4 閉 会

1 開会

委員 14 名中 11 名が参加。委員の過半数が出席していることにより、会議が成立していることを報告。

2 議事

(1) 第 2 期総合戦略（案）について

＜事務局より資料 1、参考資料 1、参考資料 2 に沿って説明＞

- ・意見等は無し。

【会長】

- ・本日が第 2 期総合戦略策定に向けた最後の会議なので委員一人ずつ意見や感想等をいただきたい。

【A委員】

- ・駅西口整備、ボールパークの開業、新駅設置の 3 つの大きなインフラ整備についても人口増加に向けた取組として戦略に盛り込めたことは良かった。
- ・北広島市を舞台にした漫画「プラタナスの実」やボールパークへの市内事業者の出店等、様々なコンテンツを組み合わせることで発展的に進めていってほしい。

【B委員】

- ・イベントがいっぱいある中で、市民の皆さんが実感できるようなものにつながっていくと良い。それを具体的にしたものが総合戦略だと思うので着実に実行していってほしい。

【C委員】

- ・シティセールスについて、具体的にはどのように発信をしているのか。北広島市に来る前までは、ボールパークがどこで建設されているのか全くわからなかった。

【事務局】

- ・本市において、シティセールス、情報発信については課題の一つと認識している。主に広報紙やホームページを活用しているが、最近はインスタやツイッター等の SNS や新聞等のメディアも上手く活用し、道内外へ広く発信できるよう効果的な方法について模索しながら進めている。
- ・情報を必要として取りに来てくださる方々には届けられるが、本市のことを知らない方や関心の無い方へどのようにアプローチしていけるかが今後の課題であると捉えている。

【D委員】

- ・人口問題について、最近は特に高齢化が進んでいると感じる。特に町内会の方々を見ていて思うが、高齢の方が多く、若い方については、企業に就職している方よりも福祉関係の仕事に就いている方が多いように思う。
- ・各地区に「ここに来ればこういうことができる」というような特徴があれば良いと感じている。西の里地区は温泉に人が集まっているので、癒し系の場所があれば良いと思う。

【E委員】

- ・コロナの影響により町内会の回覧板が対面ではなくポストインで済まされてしまい、高齢者の安否確認ができないなどの課題がある一方で、若い方からはメールで連絡してほしい、町内会費は振り込みにしてほしい等の声があり、世代間の格差を感じている。このような世代間格差を極力なくせるようなまちづくりが大切になってくると感じている。

【F委員】

- ・まちが5つの地区に分かれているという特徴を踏まえ、コンパクトシティを具現化していくことが重要であると思う。
- ・道営団地は色々な問題が潜在化してきているので解決策を検討していく必要がある。若い世代が土地を購入して住むことはハードルが高いため、経済的余裕がない時期には公的集合住宅への入居を支援することも一つの方策と考える。段階的に人生設計しやすいまちづくりを進めるべきだと考える。

【G委員】

- ・現状や課題を洗い出してできた計画になったと思う。今後もその時々々の市民の声をうまく汲み上げて進めていってほしい。

【H委員】

- ・札幌から来ていたので、外から北広島市のことを考えるという立場で参加していたが、普段から、まちの名前を聞いただけで、そのまちの特徴や顔が即座に想起できるシティアイデンティティが大変重要であると考えており、ボールパークは、どこのまちも真似できないアイデンティティになる。関係人口や交流人口の増加だけでなく、ボールパーク構想が市民の誇りにどう直結するのかということも重要である。総合戦略にも様々な方針が盛り込まれているが、今後とも総合戦略の推進をしてもらえると会議に参加した者として嬉しく思う。

【I委員】

- ・他の地域でも同様の委員を務めていたことがあるが、北広島市の総合戦略は特にボールパークを中心とした将来ビジョンがしっかり練りこまれていると感じている。市民ではないので市民との感覚は少し違うかもしれないが、今後も総合戦略を力強く進め、良いまちづくりを推進していってほしい。

【J委員】

- ・北広島市で生まれ育ち、仕事をしているが、長年まちを見てきて、まちの様子がだいぶ変わってきたと実感している。これまで、市民のふるさと意識の醸成を目的に様々な活動をしてきたが、当時、この活動に参加した子どもたちが大人になった今、市外にいても北広島市のことを思い、いつかは戻ってきたいと思ってもらえていると嬉しい。
- ・人口減少は地域経済の縮小につながり、いかに人口減少を食い止めるかが重要であると捉えている。これまでに様々な意見が反映されてできた計画なので、今後も会議において検証しながら進めていきたい。

【会長】

- ・これまで、学生たちが地元の活動に様々な形で関わるようにと背中を押す取組を行ってきた。市内居住の学生もアルバイトはJRで札幌市に行く者が多い中、なんとか地元を知り、関わりを持てるように、特にカリキュラムの中に地域を意識した科目を設けたり、市の事業や団体等を具体的に紹介してきた。今般、ワーカーズコレクティブの根拠法が成立したが、卒業後の就職先として、様々な組織形態、事業形態があることを授業で紹介し、学生たちの選択肢を広げようとして取り組んできたが、実際には卒業後、ほとんどの学生が市外に出してしまうというのが現状である。しかし、今後も市の人口増加や平均年齢の若返り等に寄与すべく大学としても活動を進めていきたいと思っている。

【事務局】

- ・本市の今年の人口動向については、転入増が昨年20人程だったが、今年は250人程となっている。ただ、出生数が伸びず死亡数が多いので総人口数で見ると現状維持もしくは微減という状況となっている。
- ・総合戦略は人口問題に特化した計画で、ある大学の先生の話では、住んでもらうには一度、まちに来てもらい、実際にまちを感じてもらう必要があるというが、ボールパークは本市に足を運んでもらう一つのきっかけとして大きな追い風になると考えている。一方で、住む所をどのように提供していくのかという点について、既存のものを時代に合わせて再整備して活用するなど、今求められていることに的確に答えていくことが人口増加に向けた重要な視点であると考えている。出生数が伸びない限り、他のまちとの人口の奪い合いとなるが、誰もが住みやすく子育てしやすいまちづくりを着実に進めていくことが重要である。本日委員の皆様からいただいた貴重なご意見を今後の市政に反映させていきたい。

(2) 次回開催日程について

- ・第1期総合戦略の最終評価について7月下旬頃を予定しており、実施日については改めて調整したい。

3 その他

- ・ハローワーク札幌東様より情報提供。
- ・事務局より駅西口周辺エリア活性化事業、ボールパーク構想について進捗状況の報告。
- ・委員の任期について、令和3年7月27日となっている。役員改選や人事異動があった場合は、後任者に出席いただきたいと考えている。

4 閉会